授業科目名・形態	看護倫理　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
担当者氏名	佐藤　純子、菅原　富貴子	実務経験の有無	無	開講期	２年後期

【授業の主題】

専門職としての看護業務を、適切かつ有効に遂行するための規範となる心構えや行動原理について、倫理的視点から考察します。一般倫理から医療に関連した種々の倫理、そして看護倫理についての歩みを学習し、業務を全うするうえでは、特に倫理的配慮が大切であること、倫理的配慮の中では生命尊厳、人権の尊重という価値観を深く身に着けることが必要であるということを学ぶ。また、看護研究を実施するうえでの倫理的な配慮の必要性も学ぶ。

【到達目標】

1. 医療や看護とは生命の尊厳や人権の尊重という価値観が重要であることを理解すること。
2. その業務を全うする上では、特に倫理的配慮が大切であることを理解すること。
3. その倫理的配慮の中では、なによりも生命の尊厳、人権の尊重という価値観を深く身に付けること。

【授業計画・内容】

第1回　生命倫理とは　　（佐藤）
第2回　医の倫理について　（医療に関連した職域分野の種々の倫理綱領について）　（佐藤）
第3回　看護倫理の基礎知識　（佐藤）
第4回　看護倫理関連の重要な言葉　（佐藤）
第5回　看護倫理関連の重要な言葉　（佐藤）
第6回　看護研究における倫理的配慮　（研究倫理を審査する倫理委員会について）　（佐藤）
第7回　看護倫理のアプローチ　（菅原）
第8回　グループワーク　（佐藤・菅原）

【授業実施方法】

基本的に講義形式ですが、グループワークで倫理のジレンマについても考察してもらう。

【授業準備】

毎回授業の終わりに、次回の授業に関連したテーマや文献について指示しますので、それを守ってください。

【主な関連する科目】

看護学概論

【教科書等】

小西恵美子他編『看護倫理』第3版　南江堂　　2022

【参考文献】

石井トク編『看護倫理』学研プラス　2014、2012　、　島崎玲子他編『看護学概論』医歯薬出版　2012、
盛永審一郎他編『看護学生のための医療倫理』丸善出版　2012　、宮坂道夫編『別巻　看護倫理』医学書院　2018
星野一正『医療の倫理』岩波新書　2001

【成績評価方法】

授業態度等（10%）とテストの成績（90%）を合算して評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で多くの部署を経験。幅広い体験から、多様な方向性から看護を考えていくことができる。それを講義の中で、体験談として話して、看護のイメージを膨らませ、看護における倫理的な行動について考える授業にしていく。

【学生へのメッセージ】

倫理は看護の「心」であるとアンＪ．デービス氏が述べているように良い看護を提供するためには倫理観をしっかりと持ち、看護の道筋を立ててケアを行っていかなければなりません。そのための入り口の授業だと思ってください。